

かけはし

~Vol. 3 2007春~



ご存知ですか?

看護の日



* 制定の趣旨 *

21世紀の高齢化社会を支えていくためには、「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を私たち一人ひとりが分かち合う必要があります。こうした心を、老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により1990年に「看護の日」が制定されました。

制定後17年という歴史の中で、相原病院では場所や内容を変更しながら、毎年近隣の施設をお借りして「看護フェスティバル」を行っております。健康相談や血圧・体脂肪・骨密度等の測定を担当する看護師と検査技師、そして管理栄養士、メジカルソーシャルワーカーも加わり、栄養相談や介護相談等に地域の皆様のご参加を頂いております。

テーマ
看護の心をみんなの心に



今年の「看護フェスティバル」のご案内

日程：平成19年5月9日（水）

時間：午後1時～3時30分

場所：コーナン相模原西橋本店 店内

内容：健康相談・介護相談・血圧測定他
看護進路相談も受け付けております。

無料です！お気軽にお立ち寄り下さい。



アンケート結果



Q. ロビーに時計を設置して欲しい

A. テレビの背部にある柱に掛け時計を設置しました。

Q. 駐車場がいつも混雑している

A. 第2駐車場の前面6台分は患者様用として確保致しました。今までと同様に他に空いている場所への駐車も可能です。

Q. 第2駐車場がわかりづらい

A. 案内図の表示板を現在作成中です。受付にて第2駐車場の案内図を配布しております。ご利用下さい。

Q. 薬を飲めるようにして欲しい

A. 正面玄関にウォーターサーバーを設置致しました。ご自由にご利用下さい。

急性アルコール中毒

～ 短時間での多量の飲酒は危険です ～



この時期、職場や学校の歓迎会・送別会・花見など、お酒を飲む機会が多いと思います。今までお酒を飲まなかった人が新入生・新社会人としてお酒を飲むこともあり、1年で一番急性アルコール中毒が多いと言われています。短時間に多量のアルコールを摂取すると、血中のアルコール濃度が急激に上昇し、一気に「泥水」「昏睡」状態になり、場合によっては呼吸困難などの危険な状態を引き起こします。

特に、こんなときは危険です

- ⚠ 自分1人で立てない
- ⚠ 声を掛けたり顔を叩いても反応が鈍い
- ⚠ 酔いつぶれたまま吐いている
- ⚠ 飲み始めてから1時間で酔いつぶれている

すぐに救急車を呼んで下さい!!



飲酒時の注意点

- ・空腹の時は飲まない
- ・口当たりが良く、濃い酒は飲まない
- ・短時間に多量の飲酒はしない(一気飲みはしない)
- ・他人に対し無理に飲ませない(一気飲みさせない)
- ・自分の適量を知っておく
- ・急性アルコール中毒は子供にも発生しています。アルコール飲料を子供の手の届く所に置かない

《症状》吐き気・嘔吐・めまい・動機
血圧低下・意識障害



応急手当

- ・身体が冷えないよう毛布などで保温する
- ・衣服をゆるめて楽にする
- ・吐く可能性を考慮し、横向きに寝かせ頭をそらせて気道を確保する
- ・吐いた時は、喉に吐物を詰まらせないように口の中の吐物を掻き出す
- ・酔いが覚めるまでは付き添うなどして目を離さず、1人にしないようにする
- ・症状が悪くなったり判断に迷った時は、救急車を要請する

かけはし Vol.3 2007春

発行/相原病院 患者サービス向上委員会

発行日/2007年4月

〒229-1101 神奈川県相模原市相原5-12-5

医療法人財団 明理会 相原病院

ホームページ www.ims.gr.jp/aihara

TEL : 042-772-3100